令和5年度掛川市立和田岡小学校グランドデザイン

・県の基本方針
『有徳の人』の育成～誰一人取り残さない教育の実現～
・市の基本方針
夢と志を持ち、ともに学び、豊かな未来を創造するひとの育成

学校教育目標　大志　共生　挑戦（桜が丘学園共通）

重点目標　一歩ふみだす子
よりよく考え、主体的に行動する

児童の実態
〇素直で優しい児童が多い。
〇後輩思いで面倒見がよい
〇誰にでも元気な挨拶ができる。
▲自己肯定感・有用感低い。
▲語彙が少なく、コミュニケーションの力にやや劣る。
▲自分で決めやり抜こうとする主体性に欠ける。

ひとりを大切にする教育

誰ひとり取り残さない特別支援教育の充実

校内研修
理由や根拠をもち、対話を通して問題解決を図る児童の育成

〇校内研修
・対話を生むための「話したい、解決したい」好奇心を刺激する仕掛け、課題提示。
・主体的な対話が展開されているかの評価の工夫。
・生活科、総合的な学習の時間の体験学習と結びついた教科横断的な単元計画の立案
〇学びつくり部
・めざす授業像、言葉の宝箱
・見せ合い授業

生徒指導の重点
人権意識、多様性への対応を高め安全・安心な風土の醸成し、積極的（発達支持的、

〇心つくり部
☆自己有用感・自己肯定感を高める異学年交流の充実
・縦割り活動（縦割り掃除、縦割り遊び）
・ペア活動（ペア読書、ペア清掃等）
・ひまわり集会、ひまわり集め
・あいさつ日本一の取組
・委員会活動の充実
・ひまわり賞
〇特別支援教育
・多様性を受け入れ個を尊重するインクルーシブ教育の充実
・全職員が特別支援教育の担い手と

はじまりのS	挑戦のSⅠ	挑戦のSⅡ	実りのS	感謝・旅立ちのS
4/7～5/27	5/30~8/23	8/24~10/6	10/10~1/8	1/9~3/19

土台としての人権教育・インクルーシブ教育（R4.6.12日本画『ひまわり』寄贈）

〈ひまわり宣言〉 和田岡小は児童、保護者、地域の皆様、本校職員。関わるすべての人の人権を尊重し大切に守っていきます。そして、児童ひとりひとりの個性が、ひまわりの花のように輝く学校を創造します。

経営目標(ベース)
1　児童・保護者・地域が信頼する安心安全の保障
2　キャリアステージに応じた教職員の力量の育成(教職員の働き方改革)
3　外部人材との協働を重視し、知・徳・体をバランスよく育成

〈学校評価達成目標〉①授業がわかる。95%②自分のよいところを言える85%　③学校が楽しい90%　④先生は自分の良いところを認めてくれる。90%⑤学校は児童の安心・安全を大切にしている95%　⑥学校は外部機関と連携して教育活動を行っている90%

チーム和田岡(地域とともに歩み、学校を核とした地域づくりを)
学校運営協議会　子ども育成支援協議会　和田岡地区まちづくり協議会
桜が丘学園(桜が丘中　桜木小　掛川こども園　桜木こどもの森　こども広場あんり)